



Chapter 8

カレンダー表示の利用

カレンダー表示機能の設定手順を解説した資料です。

日付時刻フィールドの情報が重要な役割を持つようなデータベースでは、カレンダー形式でレコードを表示することでより分かりやすく日付情報を確認できるようになります。この資料ではカレンダー表示の設定を解説しています。

Chapter 8 : カレンダー表示の利用

- ◆ カレンダー表示を設定する
 - ・ カレンダーの表示設定
 - ・ イベントの設定
 - ・ カレンダー項目の設定
- ◆ カレンダー表示での操作

カレンダー表示の利用

カレンダー表示を設定する

カレンダー表示を設定することで、データベース閲覧画面のレコード一覧をカレンダー表示に切り替えることができます。

カレンダー表示設定はレイアウト単位の設定になるため、レイアウトを切り替えることでカレンダー表示と通常の表示を切り替えて利用できます。

データベース編集画面で [詳細設定] をクリック

[カレンダー表示を利用する] にチェックを入れ [設定] ボタンをクリック

カレンダー表示をデフォルトに設定する場合はチェックを入れる

[カレンダーの設定] ダイアログが表示される

詳細設定

フォームの設定
TAB順: 縦優先 横優先

一覧の設定
項目の表示: 作成者 作成日時 更新者 更新日時
1ページの件数: 20
※一覧に明細がある場合は、30件以上を指定しても30件になります。

カレンダー表示

カレンダー表示を利用する:
 カレンダーを初期表示にする

並び替え用インデックス
並び替え用インデックスを管理する:

OK キャンセル

カレンダーの設定

カレンダーの表示
起点日: [今日] から [日] 前 表示日数: 14 日
日にちの表示幅: 細め(120px) 文字サイズ: 普通(11pt)

イベントの設定
 ドラッグ&ドロップでイベントの移動や期間の変更をできないようにする

イベント名	ラベル	開始日	終了日	表示条件

※必須項目です。10件まで指定できます。

カレンダー項目の設定
対象のフィールド: 指定しない
※指定しない場合すべてのイベントがまとめて表示されます。

カレンダービュー イメージ

曜日	7/7 (月)	7/8 (火)	7/9 (水)	7/10 (木)
休部		17:00~18:00 保守		10:00~11:00 キックオフ 13:00~13:30 打ち合わせ 休部一部
休本真勇	17:00~18:00 打ち合わせ 休本真勇	17:00~18:00 記録		出張

※20件まで指定できます。

OK キャンセル

カレンダー表示の利用

カレンダー表示を設定する

□ カレンダーの表示設定

カレンダーの表示

起点日: 日時指定 ▼ 2014/09/28 📅
表示日数: 14 ▼ 日

日にちの表示幅: 最小(80px) ▼
 文字サイズ: 普通(11pt) ▼

カレンダーに表示される日付の開始日や表示範囲などを設定します。

- ・ 起点日
 カレンダー表示で最初に表示される起点となる日を指定します。
 特定の日付や、今日/今週/今月/今年のように当日を基準とした相対的な期間を指定することができます。
- ・ 表示日数
 カレンダーに表示する日数を指定します。
- ・ 日にちの表示幅
 カレンダー上での1日の表示幅を指定します。
- ・ 文字サイズ
 カレンダー上での文字サイズを指定します。

□ イベントの設定

イベントの設定

ドラッグ&ドロップでイベントの移動や期間の変更をできないようにする + - ✎

イベント名	ラベル	開始日	終了日	表示条件

※必須項目です。10件まで指定できます。

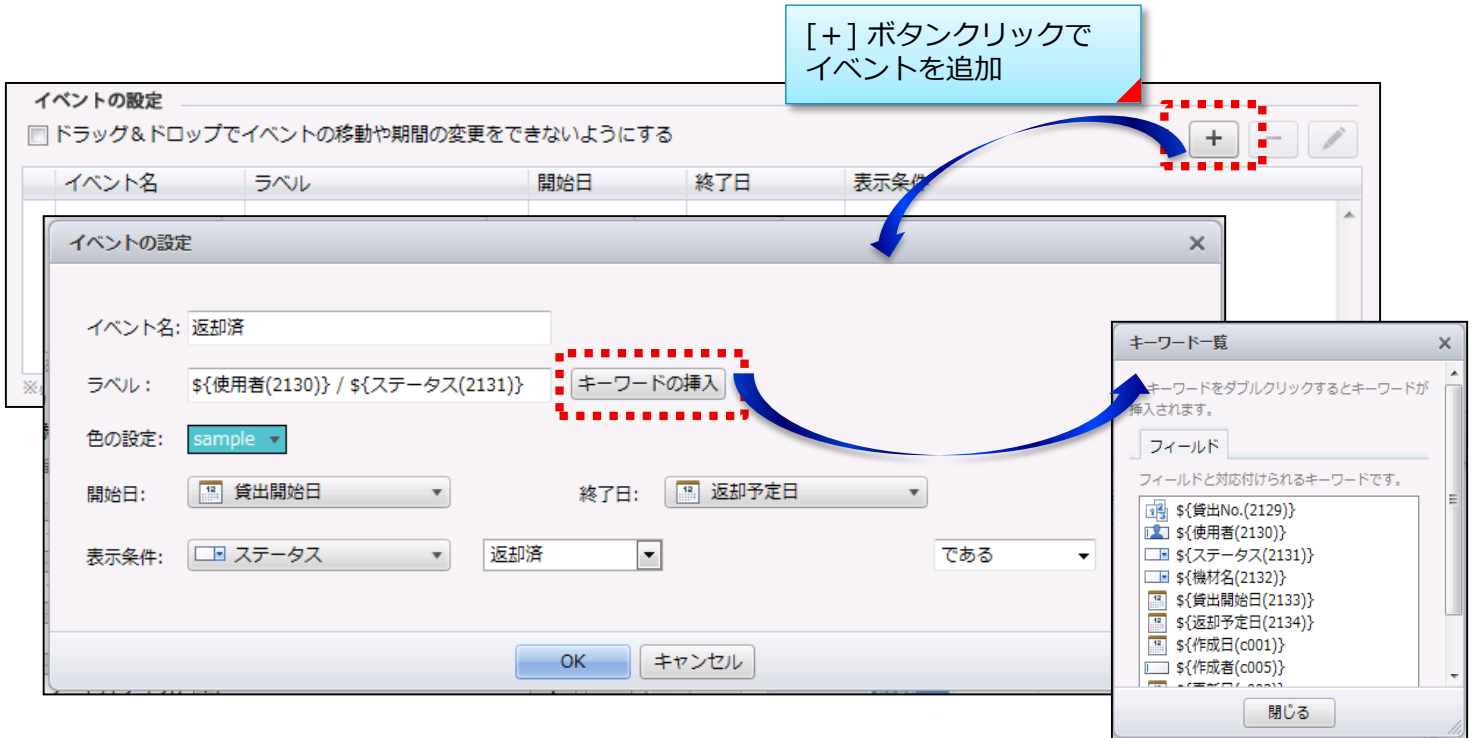
[+] ボタンをクリックして、カレンダー上に表示する「イベント」を追加します。

UnitBaseに登録されたレコードをカレンダー上に表示する単位を「イベント」と呼んでいます。ここで指定した条件に従ってレコードが表示されます。

カレンダー表示の利用

カレンダー表示を設定する

□ イベントの設定（続き）

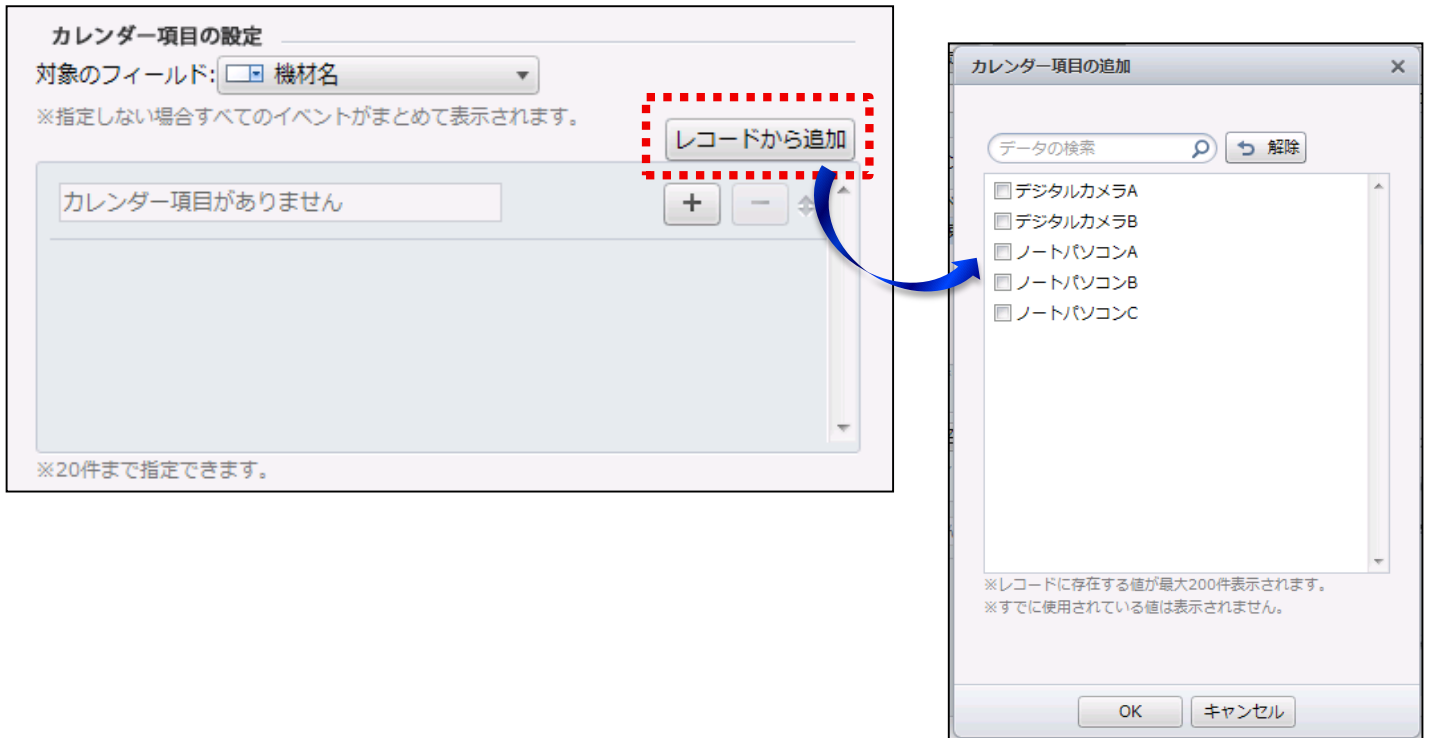


- ・ イベント名
イベントに名前を付けます。カレンダー表示での凡例で列挙されます。
- ・ ラベル
カレンダー上に表示する内容を指定します。
キーワードを埋め込むことで該当するレコードのデータを表示させることもできます。
[キーワードの挿入] ボタンをクリックして表示されるキーワード一覧のダイアログから埋め込みたいキーワードをダブルクリックします。
例) レコードの「使用者」フィールドに「二宮将太」、「ステータス」フィールドに「返却済」と登録されている場合、上の図のラベルは以下のように置換されます。
「\${使用者(2130)} / \${ステータス(2131)}」 → 「二宮将太 / 返却済」
- ・ 色の設定
イベントの背景色や文字色を指定します。
- ・ 開始日／終了日
カレンダー上にイベントを表示する際の起点／終点となる日付フィールドを指定します。
開始日だけを指定するとイベントを時点（1日）として表示します。
- ・ 表示条件
イベントとして表示するレコードの絞り込み条件を指定します。

カレンダー表示の利用

カレンダー表示を設定する

□ カレンダー項目の設定



カレンダーに表示されるイベントを、例えば「担当者別」「顧客別」「貸出機材別」など、関心のあるフィールドごとに仕分けして表示できます。

カレンダー項目はカレンダーの縦軸に分類軸として表示されます。

・対象のフィールド

ドロップダウンから仕分けしたいフィールドを選択し、仕分けする値を指定します。
[+] ボタンをクリックすることで仕分けする値の入力欄を追加できます。

[レコードから追加] ボタンをクリックすると現在レコードに存在している値の一覧が表示されますので、ここから仕分けする値を選択して指定することもできます。

カレンダー表示の利用

カレンダー表示での操作

The screenshot displays the 'Calendar Settings' dialog box and the main calendar interface. The dialog box includes fields for 'Start Date' (2014/09/29), 'Display Days' (14), and 'Event Settings' (e.g., 'Prevent moving or changing event periods by drag and drop'). The main calendar view shows a grid from 2014/09/29 to 2014/10/10. Events are represented by colored bars: blue for 'Return' (e.g., '前田雅彦 / 返却済'), red for 'Out' (e.g., '増井竜也 / 貸出中'), and yellow for 'Reservation' (e.g., '井上悠 / 予約中').

カレンダー設定を済ませるとレコードをカレンダー上に表示することができます。

- ・ カレンダー上のイベントをクリックすると、レコードの詳細画面がカレンダーの下に表示されます。もう一度クリックすると詳細が非表示に戻ります。
- ・ カレンダー上のイベントをダブルクリックすると、そのレコードの編集ダイアログが表示されます。
- ・ カレンダー上のイベントをドラッグ&ドロップして移動することで、日付を変更できます。
- ・ カレンダー上の空白部分をクリックすると、新規イベントを作成するダイアログが表示され、新しいレコードを作成できます。
- ・ 開始日/終了日が設定されているカレンダーでは、カレンダー上で開始日から終了日までの範囲をドラッグすることにより、選択した範囲を開始日/終了日とした新しいレコードを作成できます。